宿毛市における魚食普及活動

宿毛漁業指導所　大槻　晃己

１　要約

地域の水産業や魚食文化への関心を高めるため、当所では、すくも湾漁業協同組合（以下、すくも湾漁協という）が主体となって行う、魚食普及活動を継続的に支援している。令和７年度は宿毛市内の４校、計 121 名の中学生に対して行われ、魚食普及活動を支援した。

活動当日はすくも湾漁協宿毛市女性部から郷土料理の調理指導が行われ、その後に当所と宿毛市立給食センター職員が管内の漁業と魚の栄養に関する講義をそれぞれ行った。

活動実施後に宿毛市役所が全ての中学生を対象に実施したアンケートの集計結果では、多くの生徒が授業を受けたことで、宿毛の魚や水産業に対して興味を持ち、「宿毛で獲れる魚や郷土料理に興味を持った」、「宿毛の漁業のことが知れて良かった」などの肯定的意見が多数見られ、魚食普及活動の効果を実感した。

２　背景及び目的

宿毛湾周辺地域の基幹産業である水産業は、地元への水産物の供給と食文化を支えている。リアス式海岸が連続する沿岸部は、穏やかな海域となっており、その特性を利用したマダイ、ブリ、クロマグロ等の養殖が盛んである。一方で、沖合は黒潮分岐流と瀬戸内海系の海水が混合することで、県内屈指の好漁場となっており、中・小型まき網、定置網、釣り及び曳縄等の漁船漁業によって、いわし類、あじ及びさば等が漁獲されている。また、地元では水産物を活用した魚食文化が根付いており、鯛めしなどの地元ならではの郷土料理が存在する。

このような地元の水産業と魚食文化を地域の子どもたちに知ってもらうことは、地域の水産業の存続を図り、魚食文化を次世代に継承するうえで重要である。そこで、すくも湾漁協が主体となり、宿毛市役所、宿毛市立給食センター及び当所が連携し、地元の中学生に対し、地域の水産業及び魚食文化に対する関心と知識を深めてもらうことを目的とした魚食普及活動の支援を実施した。

３　普及の内容及び特徴

活動当日は、すくも湾漁協宿毛市女性部から生徒に対して、鯛めしや鯛のあら汁及びキビナゴのほおかぶりなどの調理の指導が行われた（図１、２及び３）。調理後、当所と宿毛市立給食センター職員が管内の漁業と魚の栄養に関する講義をそれぞれ行い、調理した料理を実食した（図４、５及び６）。

また、当所は宿毛市役所が魚食普及活動後に実施した中学生へのアンケート調査の解析を行い、魚食普及活動の効果を調べた。同市内、4 校の中学校を対象としてアンケート調査を実施し、104 名の回答を得た。



図１. 調理実習の様子



図２. 鯛めし



図３. キビナゴのほおかぶり



図４. 宿毛地域の水産業についての講義



図５. 当日の献立



図６. 実食の様子

４　成果及び活用

令和７年度の宿毛市における魚食普及活動は表１のとおり４校、121 名が対象となった。宿毛市役所が実施した 104 名のアンケートを当所が集計した結果（表２）、「宿毛で獲れる魚や郷土料理に興味を持った」、「宿毛の漁業のことが知れて良かった」などの肯定的意見が多数見られた。

また、「今回の授業を通して、家でも魚を食べたいと思ったか」という問いに対し、103 名中 102 名（99% ※1）が「食べたい」と回答しており、魚食普及活動の効果を実感した。

一方で、「宿毛の郷土料理を知っているか」という問いに対しては、104 名中 52 名（50%）が「知らなかった」と回答した。さらに、「家で郷土料理を食べたことがあるか」という問いに対しても、103 名中 65 名（63% ※1）が「食べたことがない」と回答するなど、魚食普及活動の中で、当所が担当している管内の漁業に関する講義の重要性を感じた。

また、この課題への対応策として、可能であれば中学生と共に料理を実食し、当所職員と水産業についての話をする機会を設ければ、管内漁業に対して理解が深まると思われた。

令和７年度水産白書によると、我が国における水産物消費量は、平成 13 年を境に年々減少しているのが現状である。当所が行う魚食普及活動により、地元の中学生が水産物や水産業及び魚食文化に関心を持つための一助となれば幸いである。

※1　１名回答無し

表１. 令和７年度の宿毛市における魚食普及活動の実施状況

	実施校	参加人数
10月3日	片島中学校	1年生32名
10月7日	小筑紫中学校	1・2年生22名
11月11日	宿毛東中学校	1年生20名
11月13、14日	宿毛中学校	1年生47名
計	４校	121名

表２．アンケート集計結果

質問内容	回答	
1. 今回の授業を通して、家でも魚を食べたいと思いましたか (n=103)	はい　： 102名(99%)	いいえ　： 1名(1%)
2. 宿毛の郷土料理を知っていますか (n=104)	知っていた　： 52名(50%)	知らなかった： 52名(50%)
3. 家で郷土料理を食べたことがありますか (n=103)	ある　： 38名(37%)	ない　： 65名(63%)